

平成27年 4月25日

芦屋市長 山中 健 様

芦屋市立美術博物館 指定管理者

小学館集英社プロダクション共同体

代表者 株式会社 小学館集英社プロダクション

住所 東京都千代田区神田神保町 2-30 号

代表取締役社長 紀伊 高明

平成26年度 事業報告書について

別紙添付書類の通り、芦屋市立美術博物館の平成26年度事業報告書を提出いたします。

芦屋市立美術博物館の管理業務に関する事業報告書
(事業年度 平成26年4月1日～平成27年3月31日)

芦屋市長 山中 健 様

名称 小学館集英社プロダクション共同体

報告者 所在地 東京都千代田区神田神保町2-30 昭和ビル
 小学館集英社プロダクション
 代表者氏名 代表取締役社長 紀伊 高明

<p>管理業務の実施状況</p>	<p>1 施設維持管理 (1) 施設の保全・管理 施設管理のルーティン業務を徹底し、巡回目視点検での異常の有無確認、漏水箇所の特特定・改善など設備・建物の耐用年数の長期化を図る管理を行った。市にご提案し排煙窓、消防設備、冷房設備の改修を実施、改善を図った。 植栽剪定・消毒作業等を適切に実施し、景観維持を図った。 (2) 安全・快適な施設の提供 安全管理を最重要視し、バックヤードの通路等の避難経路の確保、館内、不審者のチェック等、庭の監視を再徹底した。 (3) 清潔な環境の維持管理 害虫駆除の実施、その他定期清掃やガラス清掃、空気環境測定検査及びクーリングタワーの清掃等を昨年同様実施し、清潔な環境の維持管理に努めた。 (4) その他対応 展示室、収蔵庫等の温湿度の安定を図るため、システムのメーカーによる検査を実施し、管理課職員、維持管理会社本部、学芸員による日々の調整で安定化を図った。</p> <p>2 安全管理/危機管理対策、個人情報保護 (1) 各種マニュアルの作成と周知徹底 代表企業の「安全管理委員会」の指導も含め、各種マニュアルの内容の定期的見直し、部分改訂を行った。 (2) 研修・訓練の実施 実際の場面を想定した避難訓練・防犯訓練や、個人情報保管状況の確認・改善案の検討など、実地的危機対策を行った。 (3) その他 例年通り安全管理強化月間(7月～8月)を定め、①館内巡回の徹底実施②安全意識の日々の再点検③イベントの安全管理マニュアルの充実を目標とした。また、内部監査を実施し、本年度から3段階の監査を行い、館内の危険箇所や懸案事項について確認し、改善を図った。</p> <p>3 広報活動 (1) ホームページの充実 「ツイッター」も定着化し、「いいね!」も1,000件を超えた。「フェイスブック」も3月よりスタート。より多くの情報発信を可能にした。 (2) 各種広報媒体の充実、広報先の拡大 芦屋市にある各種団体、地域の店舗に直接広報を依頼し広報先拡大を更に図った。小学館発行の雑誌「和楽」の「美術館カレンダー」に、当館を毎月掲載してもらった。</p> <p>4 事業 展覧会は「浮世絵美人帖」でスタートし「具体」、現代美術を扱った「窓の外、恋の旅」、そして芦屋の遺跡をたどる「土器」展、「芦屋市造形教育」展で終了。イベント等の集客も含め、年間累計で、2万7,000名弱の来館者となった。 ※事業内容については別紙1のとおり</p>
<p>施設の利用状況</p>	<p>1 サービスの向上 (1) 研修・訓練の実施 「避難訓練」は法令に従い実施。危機管理の充実を図った。また、総務課職員対象に指定管理者制度、マナー、個人情報保護の研修を行った。 (2) 利用者アンケートの収集 引き続き展覧会観覧者から忌憚りの無い意見を頂くため、自由裁量ではなく受付で全員の方にお渡しし、ご協力を仰いだ。展覧会毎にデータは整理し、次回以降の実施の参考とした。 ※入館者数は別紙2のとおり</p>
<p>使用料(利用料金)の収入実績</p>	<p>※入館料等は別紙2のとおり</p>

1 展示事業

(1) 常設・企画展

名 称	期 間	観覧者数
・世界を魅了したやまとなでしこ —浮世絵美人帖—	4/1～6/15 (66日間) (3/30～3/31 除く)	4,415名
・GUTAI×INTERNATIONAL 具体、海を渡る。	7/5～9/7 (56日間)	2,516名
・art trip vol.1 窓の外、恋の旅。/ 風景と表現	9/27～11/30 (56日間)	2,965名
・土器どき芦屋の物語 —遺跡が語る芦屋の歴史—	12/13～2/8 (47日間)	1,253名
・芦屋の歴史と文化財		
・第32回 芦屋市造形教育展	2/21～3/1 (8日間)	4,782名
・芦屋の歴史と文化財		

常設・企画展合計 15,931 名
総入館者数合計 26,646 名

2 教育普及活動

(1) 展覧会関連事業

名 称	内 容	開催月日	参加者数
「世界を魅了したやまとなでしこー浮世絵浮世絵美人帖」展関連			
○講演会「美人画ツアー江戸時代美術の粋 一片岡家所蔵浮世絵のご紹介」	解説：本館学芸員	4/27	37人
○ワークショップ「伝統文化こども能楽体験教室」	講師：長山禮三郎（能楽師） 他	5/6	39人
○講演会「上方浮世絵の歴史と特徴」	講師：北川博子）本館学芸員	5/11	32人
○ワークショップ「やってみよう！紙版画」	講師：本館学芸員	6/1	21人
○学芸員によるギャラリートーク	解説：本館学芸員	4/19、5/3、5/24、6/7、6/14	23人、19人、25人、32人、17人
「GUTAI×INTERNATIONAL 具体、海を渡る。」展関連			
○ワークショップ「パフォーマンス」	講師：堀尾貞治（美術家）	7/5	62人
○ワークショップ「バック・トゥ・ザ・野外展」散策	講師：河崎晃一（甲南女子大学教授）	7/27	16人
○ワークショップ「あたりまえのこと」	講師：堀尾貞治（美術家）	8/2、8/9	30人、30人
○講演会「グタイ トーク サーフィン」	講師：向井修二（美術家）	8/10	30人
○学芸員によるギャラリートーク	解説：本館学芸員	7/12	17人
○ミュージアムコンサート	出演：林里奈、Modern Classic Ensemble	7/19	127人
「art trip vol.1 窓の外、恋の旅 / 風景と表現」展関連			
○オープニングイベント「映像と音楽によるライブ」	出演：林勇氣（映像作家） polarM（音楽家） 米子匡彦（音楽家）	9/27	93人
○トークイベント「谷川俊太郎さんの朗読とお話」	講師：谷川俊太郎（詩人）	10/4	104人
○町歩き「作者と巡る風景」	講師：ヤマガミユキヒロ（美術家）	10/25	11人
○ワークショップ「展覧会の風景」	講師：中次悦子（造形作家）	10/26	14人
○講演会「アーティスト・トーク」	講師：林勇氣（映像作家）	11/9	12人
○講演会「アーティスト・トーク」	講師：ヤマガミユキヒロ（美術家）	11/16	50人

○講演会「アーティスト・トーク」	講師：下道基行（美術家/写真家）	11/23	23人
○学芸員によるギャラリートーク	解説：本館学芸員	10/11, 11/1	10人, 6人
「土器どき芦屋の物語」展関連 ○開会式		12/13	30人
○講座「芦屋の古代文物 10 選を掘るー最新の考古学研究からの読み解きー」	講師：森岡秀人（芦屋市教育委員会）	1/12	35人
○ワークショップ「拓本 たくほん TAKUHON」	講師：本館学芸員	1/25	4人
○学芸員によるギャラリートーク	解説：本館学芸員	12/20 1/18 2/1	0人 6人 15人
○講演会「災害と地域の美術館・博物館の意義・・・阪神淡路大震災から 20 年」	講師：河崎晃一（甲南女子大学教授）	12/13	20人
○講演会「ここから、これから/わたしたちの生活」	講師：和田かおり（神戸ファッション美術館学芸員）、当館学芸員	1/31	12人

(2) 講演、講座等

名 称	内 容	開催月日	参加者数
○講演会「美人画ツアー江戸時代美術の粋ー片岡家所蔵浮世絵のご紹介」	解説：本館学芸員	4/27	37人
○講演会「上方浮世絵の歴史と特徴」	講師：北川博子（公財阪急文化財団）	5/11	32人
○古文書講座	講師：当館学芸員	7/13	15人
○「先生のためのミュージアム講座」	講師：堀尾貞治	7/20	20人
○講演会「グタイ トーク サーフィン」	講師：向井修二（美術家）	8/10	30人
○古文書講座	講師：当館学芸員	9/7	34人
○トークイベント「谷川俊太郎さんの朗読と話」	講師：谷川俊太郎（詩人）	10/4	104人

○古文書講座	講師：当館学芸員	10/18	20人
○古文書講座	講師：当館学芸員	11/2	16人
○講演会「アーティスト・トーク」	講師：林勇氣（映像作家） 講師：ヤマガミユキヒロ（美術家） 講師：下道基行（美術家/写真家）	11/9 11/16 11/23	12人 50人 23人
○講演会「災害と地域の美術館・博物館の意義・・・阪神淡路大震災から20年」	講師：河崎晃一（甲南女子大学教授）	12/13	20人
○古文書講座「昔の教科書 ①」	講師：当館学芸員	12/21	8人
○古文書講座「昔の教科書 ②」	講師：当館学芸員	12/21	2人
○講座「芦屋の古代文物 10 選を掘るー最新の考古学研究からの読み解きー」	講師：森岡秀人（芦屋市教育委員会）	1/12	35人
○講演会「ここから、これから/わたしたちの生活」	講師：和田かおり（神戸ファッション美術館学芸員）、当館学芸員	1/31	12人

(3) ワークショップ等

名 称	内 容	開催月日	参加者数
○びはくルーム 「松谷さんと堀尾さんとあそぼう」	講師：松谷武判（美術家） 講師：堀尾貞治（美術家）	4/6	68人
○ワークショップ「伝統文化こども能楽体験教室」	講師：長山禮三郎（能楽師）他	5/6	39人
○ワークショップ「やってみよう！紙版画」	講師：本館学芸員	6/1	21人
○びはくルーム 「気持ちの形」	講師：山村幸則（美術家）	6/22	20人
○ワークショップ 「具体、海を渡る。パフォーマンス」	講師：堀尾貞治（美術家）	7/5	62人
○ワークショップ「バック・トゥ・ザ・野外展」散策	講師：河崎晃一（甲南女子大学教授）	7/27	16人

○ワークショップ「あたりまえのこと」	講師：堀尾貞治（美術家）	8/2 8/9	30人 30人
○びはくルーム 「ザ・庭シャツ」	講師：築山有城（美術家）	8/3	60人
○ワークショップ 「土器 DOKI」	講師：当館学芸員	8/23	5人
○びはくルーム 「切り紙遊び—個性の発見」	講師：柴田精一（美術家）	8/24	38人
○びはくルーム 「アートのお仕事」	講師：池上司（西宮市大谷美術館）	10/12	30人
○びはくルーム 「タバを楽しむトーク」	講師：藤本由起夫（サウンドアーティスト）	10/19	20人
○街歩き 「作者と巡る風景」	講師：ヤマガミユキヒロ（美術家）	10/25	11人
○ワークショップ「展覧会の風景」	講師：中次悦子（造形作家）他5名	10/26	14人
○びはくルーム 「クリスマスオーナメント作り Paper Lovers-クリスマスに紙をそえる」	講師：かなもりゆうこ（美術家）	12/13	20人
○びはくルーム 「クリスマスオーナメント作り Paper Lovers-クリスマスに紙をそえる」	講師：かなもりゆうこ（美術家）	12/14	14人
○「拓本 たくほん TAKUHON」	講師：当館学芸員	1/25	4人
○びはくルーム 「紙にふれる、からだ」	講師：かなもりゆうこ（美術家） 納谷衣美（アレキサンダー・テクニク講師） 吉富敦子（ダンサー・振付師）	3/22	35人

(4) その他事業

名 称	内 容	開催月日	参加者数
○アートバザール	運営：当館職員	4/26 4/27	1,170 人 1,058 人
○美博寄席	落語家：林家染左、桂雀五郎、笑福亭呂好	4/26	150 人
○ミュージアムコンサート	出演：林里奈、Modern Classic Ensemble	7/19	127 人
○夏祭り	運営：当館職員	8/23	566 人
○ミュージアムコンサート	出演：前田伊都子、Modern Classic Ensemble	9/7	60 人
○映像と音楽によるライブ	出演：林勇気（映像作家）、polarM（音楽家） 米子匡彦（音楽家）	9/27	93 人
○アートバザール	運営：当館職員	10/4	1,008 人
○「だんじり」	だんじりの会	10/11	302 人
○ミュージアムコンサート 「ノルウエーの自然をこよなく愛した グリークの“歌曲とピアノ曲”と “ピアノ曲”の調べ」	出演：I LOVE ASHIYA	11/2	44 人
○阪神淡路大震災追悼コンサート (この町が好き～愛する人たちへ)	演奏：金澤佳代子（ピアノ） 桑原昭（歌唱） その他	1/11	32 人
○人形フェスタ	出演：芦屋市の人形劇団 ・ラッキーの会 ・人形劇団えぶろん ・人形劇みずすまし ・どんぐりの会	2/1	78 人
○東日本大震災支援追悼コンサート& 阪神淡路大震災 20 年雪解けコンサート 一届け心に わが想いをー	プログラム① 朗読：日野修、かとれあ、前田伊都子 ファシリテーター：宇佐美裕子（学校支援ボラ ンティア精小 smile ネット代表） トーク参加者：森信行（AI プロジェクト） 坪井 兵輔（毎日放送 報道局）他 演奏：金澤佳代子（ピアノ） 八重崎渚（マリンバ） プログラム② 芦屋川の歌「ときが流れる芦屋川」発表会 演奏：西浦達雄 合唱：芦屋市内の合唱団 主催：芦屋観光協会 協力：（特活）あしや NPO センター	3/2	223 人

1 入館者数

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
入館者数(人)	4,083	2,463	1,343	1,368	2,369	1,102	3,047	2,418	515	1,299	5,074	1,565	26,646

2 収入実績 (利用料金)

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
入館料(円)	466,420	785,220	348,250	203,200	366,860	168,790	267,650	309,350	39,600	142,010	63,100	0	3,160,450
撮影料	1,000	3,000	0	0	0	0	8,000	0	29,000	32,000	16,000	2,000	91,000
施設使用料(円)	20,000	0	8,200	12,500	4,300	8,200	8,200	16,800	4,100	19,200	8,200	4,100	113,800
駐車場(円)	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	780,000
合 計	552,420	853,220	421,450	280,700	436,160	241,990	348,850	391,150	137,700	258,210	152,300	71,100	4,145,250

芦屋市立美術博物館

管理業務の実施に係る収支状況 平成26年度			
収入		支出	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
【市指定管理料】		【人件費】	
市指定管理料	73,700,000	人件費	23,632,067
【利用料金】		【事務費】	
入館料	3,251,450	広報・HP・印刷製本・リース	823,327
施設利用料	113,800	施設賠償保険料	102,250
駐車場使用料	780,000	電話・郵便料・旅費	1,175,504
利用料金収入 計	4,145,250	消耗品費	1,535,123
		諸税	0
		その他雑費	321,867
		事務費 計	3,958,071
【自主事業収入】		【管理費】	
講座・イベント受講料	319,500	管理費	10,756,800
【その他】		【光熱水費】	
自販機収入	80,024	電気料金	10,248,985
ミュージックマガジン・図録販売	1,237,105	ガス料金	4,439,340
コピー・その他		水道料金	665,013
その他 計	1,317,129	光熱水費 計	15,353,338
		【その他】	
		修繕費	532,688
		【事業費】	
		展示会事業費	16,459,188
		教育普及事業費	1,010,997
		自主事業費	185,546
		富田碎花資料研究費	216,312
		運営企画料	4,860,000
		その他の事業費(棚卸)	
		事業費 計	22,732,043
合計	79,481,879	合計	76,965,007

* 収入－支出

2,516,872